

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホーム・なかだ浜山の里

施設種類：認知症対応型共同生活介護事業所（グループホーム）

日時：令和6年11月28日（木） 会場・・・なかだ浜山の里 相談室

出席

（人数）

利用者	0名	高齢者福祉課職員	1名
利用者家族	0名	あんしん支援センター職員	1名
地域の代表	4名	施設職員	2名
第三者委員	1名		

①事業所のサービス利用状況について

*男性 6名 女性 12名

*平均年齢 83.6歳 *平均介護度 2.9

*年齢別人数 <70歳代> 7名 <80歳代> 8名 <90歳代> 3名

②利用状況について

*10月20日から90歳台 女性1名の入所があり満床です。

*10月14日から80歳台 男性1名 誤嚥性肺炎で入院中です。

③待機者状況について

*入所申し込みは6件です。

④感染症について

巷では、コロナ、インフルエンザが流行しているようです。インフルエンザの予防接種は利用者様、職員全員、コロナは希望者のみ終了しました。

11月25日から発熱のある利用者様がおられ、受診しましたが、コロナ・インフルとも陰性で軽い肺炎ということで様子をみています。発熱のある方は感染症を疑い、居室対応としています。

⑤行事報告

11月9日、12日にドライブに出かけました。紅葉と思い、立久恵峡にむかいましたが、まったく紅葉しておらず、12日は大社から斐川方面へコースをかえ、コスモスをみてきました。車窓からでしたが、喜んでいただけました。

⑥職員について

10月から早番のパート職員さんの入職がありました。週20～30時間で土日も働いてくださっています。引き続き、職員募集しています。

⑦自己評価・外部評価について

・・・別紙参照

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

運営推進会議で話しあう項目のみ、抜粋し、意見や感想をいただきました。

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ渦で地域とのつながりが途絶えていたが、今年度から高松ホランディア部の方に来ていただいたり、コミセンでの催し物に参加させていただいている。敬老会にもご家族、推進委員の方にご参加いただいた。	○できていないとは思いませんよ。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、その意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年度からは当施設で開催している。その都度、ご意見いただいたことは職員に伝え、サビーズに活かしている。	○毎回、施設の状況が文章にきちんとまとめられてあり、とてもわかりやすい。 ○施設での開催のほうが施設内の雰囲気がかかり、良い。 ○部屋も会議場所として適切だと思う。		
4	市町村との連携	市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市役所とのやりとりはメール、FAX がほとんどだが、わからないことは電話で質問し、対応してくださっている。	○提出書類などきちんとされている。(市役所職員より)		
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会は基本は親族のみだが、ご家族の了承があれば友人なども許可している。その方の出生地などを把握し、話の内容に入れるなどしている。	【質問】外出なども自由に出来ますか？ 【回答】できます。毎週のように外へ連れ出し、外食されている方もおられます。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画作成時、変更時はご家族に説明しているが日々、ご家族と話し合うことは難しく、できていない。ユニット内では定期的に各利用者の問題点について話し合い、介護計画に反映している。	○ご家族にきていただくことが難しいときは郵送されたいらいいかもしれませんか。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ご家族が県外の場合など部屋にはいつていただいている。とくに看取りの場合は、ご家族のご意向に添えるように、職員は協力し、支援している。	○意見なし	
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☒ D. ほとんどできていない	以前は買い物などに出かけていたが、高齢化に伴い、自力歩行が出来る方が少なく、地域へはでていないのが現状である。	○意見なし	
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	定期的な訓練をおこなっている。近くに出雲ポンプさんがあり、協力いただいている。大雨の時などコミセンのセンター長から電話してくださっている。	○意見なし	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
35	役割、楽しみごとの支援	強い合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	その人のやりがいを見つけ、例えば、編み物、習字、脳トレなどをやっていただいている。誕生日にはその方の好物をお聞きし、提供している。	○意見なし	
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその目の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	希望には沿えていないが、定期的に外出支援を計画している。	○意見なし	
Ⅳ. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）						
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができる	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☒ D. ほとんどできていない	戸外に出かけたいという希望があっても職員都合でできていないことが多い。	○意見なし	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☒ D. ほとんどできていない	コロナ禍より、近隣の小中学校等とのかわりもなく交流はできていない。	○意見なし	

49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アンケートや相談員からの情報からも職員とは馴染みの関係ができ安心した日々が送れていると思う。	〇意見なし	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
----	----	---	--	---	--------------	---	--